



三事研広報 No.5

H23.3.1 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 河村 尚紀
編集責任者 池山 勝利

寒かった冬もいよいよ終わりに近づいてまいりましたが、花粉の影響か、このところは目のかゆみなどの症状が出てきています。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日脚は伸びても、まだまだ寒い今日この頃。どうぞお元気でお過ごしください。

第42回 東海地区公立小中学校事務研究大会名古屋大会

2月9日(水)名古屋市の中京大学文化市民会館オーロラホール、及び愛知県産業労働センターにおいて、第42回東海地区公立小中学校事務研究大会が「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務」をテーマに盛大に行われました。



中京大学文化市民会館

大会当日は風が強く、吹き飛ばされそうになりましたが、晴天に恵まれました。ご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。

全体会(講演会)「“イチャモン”を超えて ～学校と親の新たな関係づくり～」

大阪大学大学院人間科学研究科教授 小野田 正利 さん

大阪大学大学院人間科学研究科教授 小野田 正利 さんから講演いただきました。学校に無理難題を押しつけられる事態が相次ぎ、生徒よりも保護者との対応を考えなければならない中で、新・学校保護者関係研究会を立ち上げられました。研究会の冊子や近著で「モンスターペアレント」という言葉を使ってはいけなとありますが、それはなぜなのか?行田市の教員が保護者を訴えた件について、次のようにお話しいただきました。「このことが、新聞記事に出てしまったことは残念に思っています。これだけの非難をするエネルギーはどこにあるのか見つけるまで、また、子どもの利益のために、残り30人の子どもたちも、この先生が好きだから、記事にするのはもう少し待って欲しかったのです。先生は精神的に追いつめられて、不眠症になっていました。お金の問題ではなく訴状による抑止力もありますので、訴えたのはやむを得ないと思います。ただ、学校としてまずいと思わざるを得ないのは、モンスターペアレントに断固として戦わざるを得ないとしたことです。」



ステージを足取り軽く歩きながら講演をする小野田さん

つまり、保護者をモンスターと呼んで排除の対象としてとらえていては、何の関係改善も生まれえないということなのです。また、クレームが寄せられることで学校がよい方向に変わることもありますので、保護者が“イチャモン”をつけることをできなくしてしまうのはいけないと、私たちに気をつけるよう呼びかけをされました。そして、トラブルを大きくさせない、長引かせないために、保護者がクレームを持って来校されたら、まず茶を出すこと、電話でクレームが寄せられた場合は、冷静になって担当者へ用件を取り次ぐことをアドバイスしていただきました。

小野田さんの講演を聞く前に“イチャモン”を超えることは、たいへん難しく重たい課題であると構えていましたが、センスのいいお笑いを散りばめたお話でしたので、笑い続けている間に講演の時間が過ぎてしまいました。“イチャモン”に予防線を張るのではなく、子どもたちの最善の利益を優先して、学校と保護者がトラブルを一緒に解決していけるような関係になりたいと思いました。

引継会



講演会終了後、名古屋大会から掛川大会への引継会が行われました。

会員の皆様は、来年は掛川へお出かけになって、名産の深蒸し茶もご賞味ください。

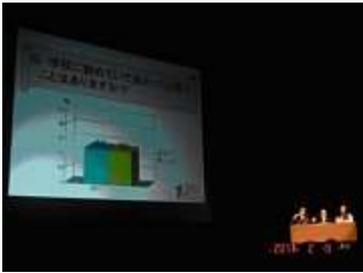
□ □ 昼食、移動

午後から第2、3、4分科会に参加の方は、愛知県産業労働センター(ウインクあいち)へ移動です



ウインクあいち(小ホール)

第1分科会（静岡県） 「私たちの未来予想図」



「俳句講座」や「ドキドキ抽選会」など趣向をこらした分科会で、先輩は後輩をどのように育て、後輩は先輩から何を受け継いでいく（つなぐ）のかということを根底におきながらの発表でした。報告があった

「やらまいかレポート（やらレポ）」は、浜松市内の事務職員が経験年数に関係なく、日々の事務改善の実践を発表しあい、よいアイデアについては積極的にどの学校でも取り入れていこうという実践でした。この報告を聞く中で、仕事に対する日々の姿勢も考えさせられるものがありました。

第3分科会（岐阜県） 「知っておきたい危機管理」



中津川市は岐阜県で唯一、東海地震の防災対策推進地域に指定されています。もしものときをシミュレーションして、危機意識を高めることを研究の視点に、取り組みを進めてきました。

事務職員も避難訓練や救急救命講習などに積極的に参加したり、防災設備の点検、補修やマニュアル作りを行ってきました。災害が発生したとき、慌てずに対処できるように、管理職員や担当の教員と連携を取りながら、継続して取り組むことが大切であると感じました。

第2分科会（愛知県）

「学校クリエイティブ集団「ジムコ」！」



「ジムコ」は、新しい学校間連携の形で、単なる効率化でなく、個別のニーズに応え職種を越えて人材を確保し、協力を得て実践するという発想がとてもしん新でした。まさにコンサルティングの役割を果たし

ている組織と言えます。

運営に際してはいくつかの課題もありますが、ジムコは駆け込み寺としての存在意義も高く、大きな成果を出しているため、今後ともこの3年間で蓄積したノウハウを生かして、活動を続けていくことが期待されます。

第4分科会（三重県）

「子どもの育ちを支援する共同実施を目指して！最初の一步」



尾鷲支部の発表では、三重県の共同実施の概要、平成20年度は共同実施で果たす役割を明らかにするために各自が作成した検討シートの取り組み、平成21年度は各共同実施グループで作成した検討シートの取り組みの結果、情報共有と共通理解、共同実施組織確立、他組織との連携、具体的行動計画に取り組んだ成果が報告されました。

グループ討議では、各地の学校間連携、学校支援組織、共同実施などの交流を行いました。

支部の風景 北から南から

今回は鳥羽支部の紹介です。

パールロードへ
行こう！



<牡蠣も宝くじも当たらない!!> <鳥羽発>

パールロード沿線をドライブしてみてください。あちこちに「牡蠣（かき）食べ放題〇〇〇〇円」「牡蠣詰め放題〇〇〇〇円」の看板が目につきます。「焼牡蠣のお店」です。的矢地区のビッグな料亭・旅館もいいのですが、手軽でお安く「美し国鳥羽志摩」を堪能できるかと思えます。牡蠣以外の海産物も用意している店もありますので、お好みの店を選んでくださいね。

加熱して食べるメニューがほとんどなので、食当たりもないでしょう。

食べ放題の注意（ワンポイント）

*若い人は勢いでたくさん食べてください。そうでない方は食べ放題といえど、欲はしないこと。

パールロード＝鳥羽市の安楽島、本浦、石鏡、国崎から相差そして志摩市の三ヶ所（志摩スペイン村）を経て鵜方へ通ずる海岸線の観光道路です。一昔前までは有料道路で、2ヶ所関所（ゲート）があり、貫通すると2,000円弱程お金がいったような記憶があります。…また、鳥羽側の関所には鳥羽石鏡出身の歌手鳥羽一郎の叔父さんが働いていたそうです。ローカルですね（笑）今は昔。

研究大会のご案内

平成23年度 第48回
三重県公立小中学校事務研究大会
50周年記念大会

日時 平成23年10月21日（金）
場所 三重県総合文化センター

来年度の予定

総会・第1回研修講座 平成23年5月17日（火）
（男女共同参画センター）
第2回研修講座 平成23年8月10日（水）
（度会地域＝会場は未定）
第3回研修講座 平成23年12月9日（金）
（男女共同参画センター）

